



Reading Check

1. B 2. A 3. C 4. D 5. B 6. D 7. A 8. B

True or False: 1. T 2. T 3. F 4. F 5. T 6. F

Match

= fire = moon = balloon = flower = water = milk = drum = rainbow

Unscramble

1. COLOR 2. SPRING 3. POWDER 4. MOON 5. BRAVE 6. INDIA

Fill in the blanks

(1) village (2) Holi (3) shields (4) sticks (5) laughing (6) story (7) pink (8) face (9) gujiya (10) colorful

Sentence order

1. People light big fires at night.
2. People throw bright powder at each other.
3. Children use water guns and balloons.
4. Holi is also a day to forgive.
5. Holi welcomes spring with many colors.

Secret Code

HAPPY HOLI (ハッピー・ホーリー)

Maze — Secret word

COLOR

解説 (Reading Check)

1. B 前夜のたき火の物語（第1・2段落）、色遊び（第3・4段落）、仲直りと春（第5段落）と、ホーリー全体を紹介しています。
2. A 第2段落に asked his sister Holika for help, because fire could not hurt her とあります。ほかの選択肢は本文に書かれていません。ただし物語では、最後に焼けたのはホリカでした。
3. C 第3段落に The next morning, the colors come out. People throw bright powder とあります。火をたくのは前の晩です。
4. D 第4段落に yellow came from turmeric とあります。バラーシャの花は赤とオレンジでした。
5. B Friends, neighbors, and even strangers と、友だち・近所の人より遠い関係の人として並べられています。「知らない人」です。
6. D 第5段落に Later in the day, people visit family and friends. とあります。ホーリーは冬の終わり、工場製は「多くの」色、プラフラーダはヴィシュヌ神に祈りました。
7. A 第5段落の Holi is also a day to forgive. から、仲直りのきっかけになる日だと推測できます。
8. B アルジュンは all the colors look beautiful on white と理由を言っています。



和訳（問題文）

- T/F 1. ホーリーはインドやネパールの色の祭りだ。（正）
- T/F 2. ホーリーの前の晩、人々は大きな火をたく。（正）
- T/F 3. ホーリーはいつも3月1日だ。（誤：満月に合わせて毎年変わる）
- T/F 4. 昔話では、プラフラーダが火で焼けた。（誤：焼けたのはホリカで、プラフラーダは無事だった）
- T/F 5. 昔は、ターメリックのような植物から色を作った。（正）
- T/F 6. Holi という言葉は英語の holy から来た。（誤：インドの言葉から来た）
- Unscramble 1. COLOR＝色
- Unscramble 2. SPRING＝春
- Unscramble 3. POWDER＝粉
- Unscramble 4. MOON＝月
- Unscramble 5. BRAVE＝勇敢な
- Unscramble 6. INDIA＝インド
- Order 1. 人々は夜に大きな火をたきます。
- Order 2. 人々はあざやかな粉をかけ合います。
- Order 3. 子どもたちは水鉄砲や風船を使います。
- Order 4. ホーリーは許しの日でもあります。
- Order 5. ホーリーはたくさんで春を迎えます。
- ... likes pink＝ピンクが好き
- ... has eaten Indian curry＝インドカレーを食べたことがある
- ... has played with water balloons＝水風船で遊んだことがある
- ... knows the capital of India＝インドの首都を知っている
- ... has seen a big bonfire＝大きな火を見たことがある
- ... can name five colors in English＝英語で色を5つ言える
- ... has made up with a friend after a fight＝けんかのあとと友だちと仲直りしたことがある
- ... likes spring the best＝春がいちばん好き
- If I joined Holi, I would throw _____ powder at _____ because _____.＝ホーリーに参加するのなら、私は _____ 色の粉を _____ にかけます。なぜなら _____ だからです。
- I want to say sorry to _____ for _____.＝私は _____ に、_____ のことを謝りたい。
- My favorite thing about spring is _____ because _____.＝春でいちばん好きなものは _____ です。なぜなら _____ だからです。

全訳（Reading）

- 1 ホーリーの前の晩、インドの多くの町で人々は大きな火をたきます。人々は歌い、祈り、炎のまわりを歩きます。その火は、プラフラーダという勇敢な少年の昔話を伝えています。
- 2 プラフラーダの父は思い上がった王で、みんなに自分を拜ませたがっていました。でもプラフラーダは、ヴィシュヌ神にだけ祈りました。怒った王は、妹のホリカに助けを求めました。ホリカは火で傷つかなかったからです。ホリカは少年をひざにのせて、火の中に座りました。ところが物語では、焼けたのはホリカで、プラフラーダは無事でした。だからこの火は、善が悪に勝つことを意味するのです。
- 3 次の朝、色が登場します。人々はグラールと呼ばれるあざやかな粉をかけ合います。赤、黄、緑、ピンクが宙を舞います。子どもたちは水鉄砲や水風船を使います。友だちも近所の人も、知らない人までもが虹色になります。ホーリーは愛の祭りでもある、と多くの人が言います。昔話では、クリシュナ神と友だちのラーダーが色遊びをしたのです。
- 4 昔は、色はすべて植物から作られていました。赤とオレンジはパラージャの木の花から、黄色はターメリックから作られました。今では、多くの色が工場で作られています。目や肌を傷めるものもあるので、今は天然の粉を選ぶ家族も多くなっています。
- 5 その日の後半には、人々は家族や友だちを訪ねます。グジヤのようなお菓子を食べ、タンダイという冷たいミルクの飲み物を飲みます。ホーリーは許しの日でもあります。けんかしていた人たちも、いっしょに笑ってやり直すことがあります。ホーリーは冬の終わりにやってきて、世界中のあらゆる色で春を迎えるのです。

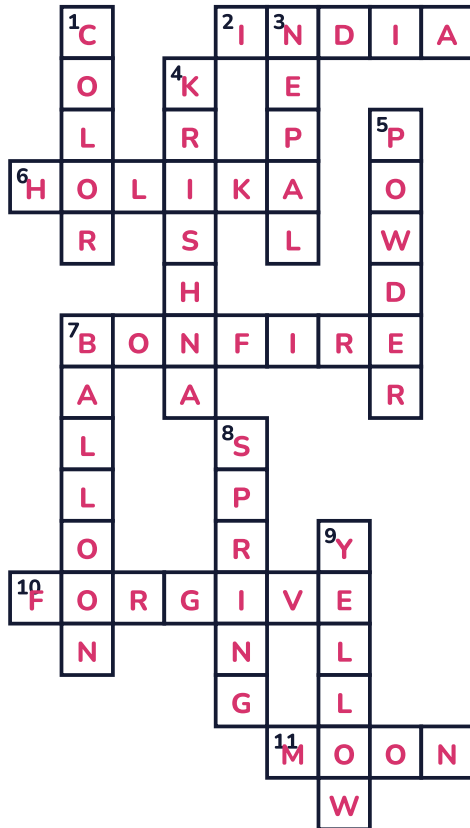


Answer Key (Puzzles)

解答 (パズル)

Class _____ No. _____ Name _____

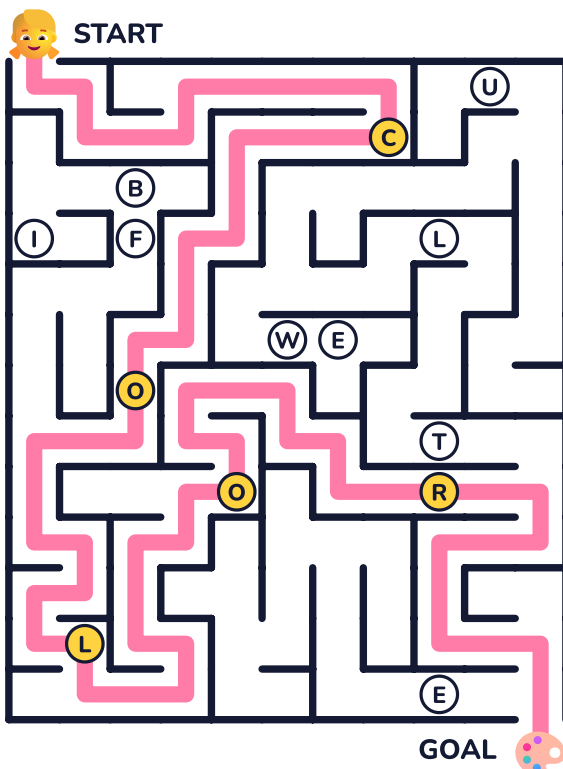
Crossword



Word Search



Maze





発展セット C1：Comprehension

1. A 最後の文 Both debates show a common challenge ... how to keep their joy and meaning while adapting to modern products and a global audience が主旨で、第1・第2段落（色の問題）と第3段落（世界への広がり）をまとめています。2・3・4は本文に書かれていません。
2. D 第2段落 A 2007 study in Delhi linked a synthetic dye called malachite green to eye irritation が根拠です。2の皮膚の問題は2009年の研究で、原因は金属をふくむ市販の染料。1と3は本文にありません。
3. C 第1段落 yellow from turmeric が根拠です。バラシャの花はオレンジ、ヘンナの葉は緑です。藍はこの英文には出てきません。
4. B カラーランの参加者の多くがホーリーの物語を知らないことから、イベントが楽しさ中心で、元の物語や意味は伝えられていないと推測できます。直後の文でも、たき火や祈りや許しが忘れられる心配が書かれています。1・3・4は本文に根拠がありません。
5. C replace は「～に取ってかわる」。祭りが大きく商業的になるにつれ、安い工業染料が天然の色のかわりに使われるようになった、という流れです。1「守った」、2「改良した」、4「混ぜられた」は文脈に合いません。
6. A 最後の文 Both debates show a common challenge for traditional festivals で、2つの議論が同じ課題の例であると筆者がまとめています。2～4は本文に書かれていない内容です。

発展セット C2：Vocabulary

1-d (commercial＝商業的な) 2-e (industrial＝工業の、工場で作られた) 3-f (ingredient＝材料、成分) 4-g (synthetic＝合成の、人工の) 5-h (irritation＝(目や肌の) 炎症、ひりひりすること) 6-a (pollution＝汚染、公害) 7-b (inspired＝(～から) 着想を得た、～をもとにした) 8-c (adapt＝適応する、合わせて変わる)

Paraphrase (例)

1. When Holi became bigger and more about business, people started to use cheap factory dyes instead of many natural colors.
2. Because of these problems, many people now prefer colors that come from flowers and plants.
3. Some Hindus are happy because more people can learn about their culture. But others are afraid that people are forgetting the bonfire, the prayers, and the message of forgiveness.

Summary (例)

Holi colors once came from plants, but cheap industrial dyes later replaced many of them. Studies linked some dyes to eye and skin problems and water pollution, so many people now choose herbal colors. Holi has also spread worldwide, and people disagree about whether its meaning is shared or forgotten.

Advanced Reading 全訳

1 何世紀もの間、ホーリーで投げる粉は村のまわりに生える植物から作られていました。バラシャの花からオレンジ、ターメリックから黄色、ヘンナの葉から緑です。インドの伝統医学アーユルヴェーダの医師たちは、こうした天然の材料を勧めていたといわれます。祭りが大きくなり商業化が進むと、安い工業用の染料が多くの天然の色に取って代わりました。

2 2007年のデリーでの研究は、マラカイトグリーンという合成染料を目の炎症と結びつけ、2009年の研究では、一部の市販の色粉に皮膚のトラブルを起こす金属系の染料が含まれていることがわかりました。研究者たちは、重金属をふくむ顔料が、祭りのあとに一時的な水質汚染を引き起こすことも報告しています。これを受けて、今では多くの人が、花や植物から作った色粉を選ぼうとしています。

3 同時に、ホーリーは南アジアをはるかにこえて広がりました。ホーリーから着想を得た音楽フェスや5キロのカラーランが今では多くの国で開かれています。ランナーの多くはホリカやプラフラダの名前を聞いたこともありません。自分たちの文化を分かち合う方法として歓迎するヒンドゥー教徒もいれば、たき火や祈り、許しの考え方が忘れられていくのではと心配する人もいます。この2つの議論は、伝統的な祭りに共通する課題を示しています。現代の製品や世界中の参加者に合わせながら、その喜びと意味をどう守るか、という課題です。